



● アーテックスフェイスボウ
(一般医療機器) 医療機器届出番号 27B1X00020220066



● トランスファースタンドCバージョン
ユニバーサルジョイント



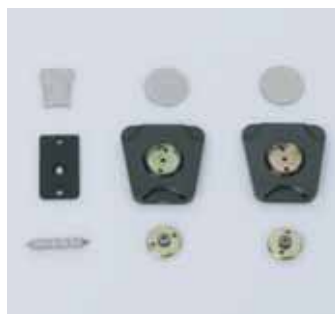
● トランスファーシグ



● バイトフォークサポート
ボウサポートピンセット



● モデルプレートCバージョン
リテンションディスクCバージョン



● プレートセットCバージョン



● カウンタープレート
リテンションディスクφ36



● モールドセット



● セットアップテンプレート
Cバージョン



● セットアップキー



● 個別用アンテリアガイダンス
Cバージョン



● アーテックス用ケース



ジロフォーム

超精密作業模型製作システム

石膏の膨張を補正し、超精密な可撤式作業用模型の製作を可能にしたシステム

クラウン、ブリッジ、ロングスパンブリッジ、デンチャー、インプラント模型、耐火模型等、幅広い症例に使用することが可能



スターターキット

販売業者: [Imaging new visions. ▼ 見えるをかえる。▼](http://www.asahi-xray.co.jp)

朝日レントゲン工業株式会社 <http://www.asahi-xray.co.jp>

〒601-8203 京都府京都市南区久世築山町376番地の3 TEL:075-921-4330 FAX:075-921-6675

※札幌・仙台・東京・名古屋・金沢・京都・大阪・高松・広島・福岡にショールームを開設しております。
日本国内の各拠点の詳細につきましてはWEBサイトに掲載しております。

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

製造販売業者: 白水貿易株式会社 〒532-0033 大阪市淀川区新高 1-1-15 TEL 06-6396-4400
<http://www.hakusui-trading.co.jp/>

2016.7.P.2000



アーテックス 咬合器

- カーボン製で安定感に優れた軽量のハイテク素材を採用
- 現代的な美しいフォルムと実用性
- スクリューを使用しないマグネットシステム
- 大きな作業スペース126mm
- 精度が高く、再現性に優れたセントリックロック
- 各咬合器間の高い互換性を得ることが可能

(一般医療機器) 医療機器届出番号 27B1X00020220065

再現性に優れたセントリックロック

運動の開始位置がしっかり保たれ、運動の終了時に咬合器がセントリックポジションに確実に戻ります。

高い信頼性

精密な調整機構を備え、正確な顎運動のシミュレーションが行えます。

マグネットタイプ

マウントの際にスクリューを必要としないマグネットシステムを採用しています。

カーボン素材

軽く、強く、そして高い実用性を併せ持ったカーボン素材を採用。

大きな作業スペース

模型をマウントするために十分なスペースを提供します。

AMANN GIRRBACH社のアーテックス咬合器は、カーボン素材を初めて使用した咬合器で、高い精度と操作性を実現した咬合器です。

ドイツでは圧倒的なシェアを誇り、標準的な咬合器になっています。

アーテックス咬合器は、平均値タイプからフルアジャスタブルなタイプまで幅広く揃っており、いかなる用途にも対応することが可能です。もちろん、各咬合器はスプリテックシステムにより高い互換性を誇り、医院とラボ間のスムーズな連携をサポートします。

高精度なフェイスボウトランスファーを可能にするアーテックスフェイスボウを始め、魅力的なオプション類も豊富にご用意しています。

アーテックス咬合器の比較

	コンダイラー型			アルコン型	
	Artex BN	Artex CN	Artex CT	Artex CP	Artex CR
SCI (矢状顎路角)	35°	35°	-15°~60°	-20°~60°	-20°~60°
TCI (ベネット角)	15°	0°~20°	0°~20°	-5°~30°	-5°~30°
前方運動	-	-	-	-	0~6mm
後方運動	-	-	-	-	0~2mm
ISS (Immediate Sideshift)	-	-	-	-	0~1.5mm
ディストラクション	-	-	-	0~3mm	0~3mm
カーボン製 (強くて軽い)	-	○	○	○	○
大きな作業スペース126mm	○	○	○	○	○
互換性 (スプリテックシステムによる)	○	○	○	○	○
安定したセントリック・ロック	○	○	○	○	○
マグネットシステム	○	○	○	○	○



セントリックロックでセントリックの位置を確実に再現します。



人間工学に基づき設計されており、患者の口腔内を確実に再現します。



スプリテックでカリブレーションを行うことで、各アーテックス咬合器の互換性を保ちます。



ディストラクション機能で、垂直的に挙上を行うことが可能です。



アーテックスシステムで「患者の状態」をトランスファーすれば、歯科医師と歯科技工士間のコミュニケーションや、分析、確認が可能です。

